

第8回寝屋川市高齢者保健福祉計画推進委員会 要旨

日 時 令和6年3月26日 13:30～14:00

場 所 保健福祉センター 5階会議室1・2

出席委員 赤井委員 綾部委員長 香川副委員長 木下委員 金城委員 近藤委員
澤田委員 高田委員 谷口委員 出口委員 中島委員 濱吉委員（名簿順）
欠席委員 下田委員 山崎委員（名簿順）

委員出席状況の報告（委員14名中12人の出席により、会議が成立したことを報告）

配付資料の確認（資料1の p.39、p.44 を修正し、差し替え分を当日配付）

案 件

1 次期計画の案について

（事務局 資料1～3に基づき説明）

〔補足事項〕

- ・資料1の次期計画案は、資料2のパブリック・コメント手続き結果に基づき説明する。
- ・計画素案は大阪府との法定協議でも修正はなく、計画案は資料編を追加したものである。
- ・資料3の介護保険料は、算出にあたって①収支が均等化するよう伸び率を抑制、②所得段階を第8期の18段階から19段階に変更し低所得者の負担を軽減、③準備基金の取り崩しの3点の工夫を行い、基準月額を第8期から300円の増額に抑えた。準備基金の取り崩し額は第10期の保険料の大幅な上昇を防ぐため、基金残高の半分の8億円とした。

（委員長）

事務局の説明について、質問や意見等はないか。計画案はほぼ完成版なので大きく変えることは難しいが、来年度からの計画の推進につながる意見があれば出してほしい。また、次年度は委員が改選され、交代する委員がおられるかもしれないので意見をいただきたい。

（委員）

介護保険料の上昇を抑えるために準備基金を取り崩したということだが、今後も基金は同じように積み増される見込みなのか。

（事務局）

介護保険事業費は第7期まで黒字で基金が積み増されてきたが、第8期は市長の指示でコロナ禍の状況もふまえて保険料を抑えるよう、期間中の収支を均等化して算出した。第9期も同じ考え方のため基金の積み増しは難しいと考え、取り崩し額を残高の半分にして今後に残した。

（委員）

介護保険料は世帯の人数で変わるのか。また、年度途中で変わった場合はどうなるのか。

（事務局）

介護保険料は基本的には個人にかかるものである。ただし、第3段階までは世帯非課税の方が対象となる。所得段階は4月1日の状況で決定するので、年度途中で変わっても変化しない。

（委員）

以前にも質問したが、要介護認定調査はやはり申請してから35日かかっているのが現状である。今後、市として考えていることがあるか。

（事務局）

調査までの期間が長いという分析の基づき、来年後予算に認定調査員の1名増員を盛り込んで募集を行っており、待機者の解消と期間の短縮ができると考えている。また、IT化による短縮や他市の動向の調査など、1日でも短くできるよう検討している。

（委員）

名古屋市は介護予防・日常生活支援総合事業の報酬単価を市独自に上乗せすると聞いた。寝屋川市でも準備基金を活用して独自の上乗せができないか。本委員会でも何度も出ているように、訪問介護は事業がなかなか成り立たないため止めるところが多く、寝屋川市だけでも食い止めることができればよいと思うので、ぜひお願いしたい。

(事務局)

総合事業は事業者のみなさんにご協力いただいて取り組んでおり、単価を検討してほしいというご意見もいただいている。すぐに具体的に取り組む計画はないが、他市の事例も参考にし、継続して検討していきたい。

(委員)

高額医療費の払い戻しは申請しないといけないのか。

(事務局)

介護保険の高額サービス費等は、国保連からの情報に基づき対象となる方に通知している。

(委員)

今回の報酬改定で訪問介護は資格確認を自宅でマイナンバーカードで行うことになるが、家から出られない人がマイナンバーカードを取得するために、市が訪問して手続きを行うなどの支援を考えているのか。

(事務局)

市はマイナンバーの取得促進を行っているが、家から出られない方への対応については高齢介護室では把握していないので、主担当の市民サービス部に確認する。

(委員長)

他に質問や意見はないか。準備基金、認定調査、総合事業、高額介護サービス費、マイナンバーカードについていただいた質問や意見は、事務局で計画の推進に反映できるところは反映し、他の部署にも伝えて改善してほしい。

案件2の「その他」はどうか。なければ本日の案件はすべて終了したので、委員会を終了する。令和3年度から5年度までコロナ禍の厳しい状況のなかで8回の委員会で議論を重ねていただき、次の3年間の「寝屋川市高齢者保健福祉計画（2024～2026）」の案ができあがった。対面での会議は途中からだったが、活発なご意見と委員会運営へのご協力をいただき感謝する。

(事務局)

今回検討していただいた次期計画は、進捗管理の審議を本委員会をお願いしたいと考えており、来年度は7～8月ごろの開催を予定している。また、新たな公募委員の選定を行っており、委員のみなさまにも新たな委嘱のお願いをさせていただきたい。

今回は本年度最後の委員会なので、本来は福祉部長が出席してお礼のごあいさつを申し上げるところだが、公務で欠席しているので、代わって私からお礼を申し上げる。委員のみなさまには3年間にわたり現計画の進捗状況の評価を行うとともに、本年度は次期計画の策定に向けて5回にわたり活発なご議論で案をまとめていただき、感謝する。本市はシルバー世代が自分らしく元気にいきいきと暮らし続けることができるまちづくりをめざし、本案に基づいて高齢者保健福祉施策をすすめて参りたいと考えている。委員のみなさまには、今後とも本市の高齢者保健福祉施策の推進にいっそうのご理解、ご協力を賜るようお願い申し上げます。

本日はお忙しいなかでご出席いただき感謝する。以上で委員会を終了する。

(閉会)